

松本市(長野県)

車優先社会からの転換を目指して

モータリゼーションの進展により、車に依存した生活スタイルが一般的となり、松本市においても「車優先の街づくり」が進められてきました。車は、便利な反面、排気ガス等による公害や公共交通利用者の減少等の社会問題も顕在化させており、従来の枠組みを越えた新たな発想による取り組みが必要です。ここで、現在松本市で実施している施策の一部を紹介します。

1 新しいエコ通勤

職員の率先行動として、原則マイカー通勤を禁止する「新しいエコ通勤」を昨年の10月から試行しています。今後は、民間企業への普及拡大を目指します。

2 バスDAYまつもの実施

渋滞の緩和とバス利用に向けた意識啓発等に繋げるため、大型イベント開催日に、市内のすべての路線バスの運賃を1乗車100円(小学生以下は無料)とする、「バスDAYまつもの」を実施しています。

3 松本カーフリーデーの実施

民間企業等38団体で構成する「松本市ノーマイカーデー推進市民会議」では、毎年9月に中心市街地において、車を一日使わない日を創出する「松本カーフリーデー」の社会実験に取り組んでいます。

4 次世代交通政策の研究

20年先、30年先を見据え、車を優先した社会から「歩く」ことを基本とした生活スタイルへの転換を図り、総合的な視点から持続可能なまちづくりを推進するため、「松本市次世代交通政策基本方針」の策定を進めています。

本市では、「健康寿命延伸都市・松本」を将来の都市像として定め、だれもが健康でいきいきと暮らせるまちづくりを目指しています。その実現に向けてもこうした取り組みを一層進めていく予定です。

松本市市民環境部環境政策課：電話：0263-34-3268



松本カーフリーデー2007



次世代交通を考える市民フォーラム

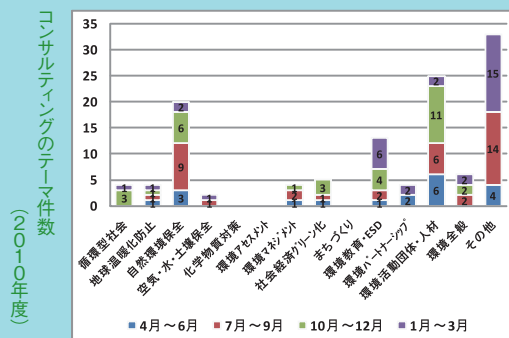
EPOはどんなふうにご利用できるの？

EPO中部は、2005年9月にオープンした中部7県の環境パートナーシップを促進する拠点です。では実際に何をしているのか、どのようなプロジェクトをしているのか、多くの人に質問されます。そこで、今回はEPOの利用方法をほんの少しお届けします。

ここ数年多くいただくお問い合わせは、

- *地域の環境活動に寄付をしたいので、団体を紹介してほしい(企業)
- *CSR事業を検討しているが、どんなNPOとどんな協働ができるかアイデアはないだろうか(企業)
- *政策形成過程での市民やNPOの参加を促したいがどう進めればよいただろうか(行政)
- *協働事業を展開したいが、企業や行政のどの窓口にどのように相談に行けばいいのだろうか(NPO)

などです。EPOでは、こうした問い合わせに対して、NPO、企業、行政などが一緒に事業を進めたい人(組織)、を紹介し、どのように一緒に展開するかなどアドバイスをしています。



コンサルティンクの様子

つまり、「つなぐ」役割です。そして、価値ある「つなぎ」にするために、多様な人材、事業の情報を蓄積し、その情報を地域の課題解決やニーズに対応するためにどう使うか、組み合わせるか、がEPOのスキルです。EPOスタッフの主な重要業務は、情報収集、いろいろな人や現場を「知る」こと、そして得た情報を使える情報にすること、です。相談にいらした方に、検討中の事業がうまく実現できるよう、適切な情報提供や協働の方法などアドバイスに注力しています。皆さんの「こんなことできないだろうか」に真摯に向き合い、応えられるよう、最新の情報収集やネットワークの拡大を試みています。

たくさんの人や組織に「EPOに相談してみよう!」と言っていたら日々奮闘! 具体的な事業についてはHPをご覧ください。

<http://www.epo-chubu.jp>